

<< 朝日町総合計画・総合戦略検証委員会における委員意見及び回答・対応等 >>

区分	施策分野	主要施策	担当部署	成果指標等						第3回委員会 (H29.12.01) における意見等		
				項目	単位	H26 (基準)	H32 (中間)	H37 (最終)	H28実績、H29.10.01現在		委員意見	回答・対応等
									成果数値	達成状況等		
1 子育て・教育	11 子育て支援	116 非婚化・晩婚化対策の推進	企画調整課 健康課	【総合戦略】 婚活事業の参加を通じて結婚したカップル数 [累計]	組	—	30	45	0	基準値とする。 ※	<ul style="list-style-type: none"> <li>●行政主導での婚活事業を実施では、事業対象の核心である「朝日町の若者」の出会いの場をなかなか創出できないのではないかと。</li> <li>●できれば民間主導で、朝日町に住んでいる若者、朝日町で働く若者をターゲットにした婚活事業を展開すべきではないかと。</li> <li>●婚活イベントを実施しても、成功率が低い。県内でも活躍・成功している人材を招聘し、ノウハウを教示願えばどうか。</li> <li>●町で婚活イベントを開催すると、どれくらいの成果があるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●婚活イベントは、町主催でも開催しているが、女性の参加を促すことは非常に難しい。今後の取組みとしては、「おせっかいさん（＝結婚サポーター的人材）」の登用の必要性、地域ぐるみで婚活をサポートするような体制づくりが必要となってくると考えている。</li> <li>●民間企業には、店舗を活用したイベント開催や社員への婚活などといった、婚活PRに対する「応援店舗・応援企業」を検討したい。</li> <li>●ご提言を踏まえ、来年度には講演会等の機会を作っていきたい。</li> <li>●7月22日（土）に常光寺で町主催の婚活イベントを実施した。その際は2組のカップリングがあったが、その後、追跡調査を行ったところ、その場限りであった。このことから、カップリングから成婚に結び付けるための後押し、「おせっかいの焼き方」が必要であると改めて感じた。</li> </ul>
1 子育て・教育	12 学校教育	121 小中学校の学習指導の充実（学力向上、各種教育の推進）	教育委員会	【総合戦略】 子育て家庭の教育面に対する満足度	%	30.0	50.0	60.0	45.7	H26比較：+15.7 (アンケート調査) △	<ul style="list-style-type: none"> <li>●朝日町の小中学校の米は、朝日町の業者ではなく、富山市の業者が炊飯している。学校給食にもルールがあるのかもしれないが違和感がある。</li> <li>●町立の学校では、朝日産米を使用して町の業者が炊飯すべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校給食で使用している米は朝日産米であるが、これまでお願いしていた業者が対応できなくなったため、今年度から富山市の業者に炊飯をお願いしたという背景がある。</li> <li>●安全安心なものを提供する観点からの対応である。</li> </ul>
1 子育て・教育	12 学校教育	126 ふるさと教育の推進	教育委員会	【総合戦略】 地域に誇りを感じている若者の割合	%	54.9	70.0	80.0	49.4	H26比較：▲5.5 (アンケート調査) ▲	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各小中学校で、地域おこし協力隊が中心となって「ふるさと教育出前授業」を実施していただいている。この取組みには、外からの目線で朝日町の良さの気づき、発見することができるとあり、有り難い。</li> <li>●この形態のほか、朝日町に長く住み、仕事をしている方の「生きた話」も聴かせて欲しい。例えば、介護や看護人材など、故郷で仕事をされている方の話が聴ければ、子どもたちの将来の選択肢の幅が広がる。</li> <li>●ふるさと教育については、各学年の発達段階に応じて、朝日町の良さや輝いている人物を学習している。キャリア教育の初歩として、「かがやき名人」と題し、朝日町の様々な方々を特別講師として招き、授業していただいている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●町では、ふるさとチャレンジ検定、朝日岳登山、タラ汁給食など、自然や特産品を用いたふるさと教育を展開している。また、放課後子ども教室や伝統芸能を通じて地域住民との繋がりを大切にしている。</li> <li>●「介護や看護人材の方から話していただく」ことについても、あさひ総合病院や有磯苑とも協議しながら、検討していきたい。</li> <li>●朝日町再生会議からも、ふるさと教育に関する提言をいただいた。今年度も引き続き、地域おこし協力隊による出前授業を実施してきている。今後も、学校と連携しながら、子どもたちの教育のプラスになるよう展開していきたい。</li> </ul>
3 産業振興	31 農林水産業	313 6次産業化、農商工等連携の推進	農林水産課 商工観光課	《交付金》 販路拡大による売上額	千円	—	25,000	—	722	基準値とする。 ※	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「安全安心な食を提供する「おいしい朝日町加盟店」などを展開する」とあるが、朝日町に固執するのではなく、もっと外に打って出るべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●朝日産米の販売に関しては、ふるさと納税の返礼品として活用しているほか、東京朝日会や関西朝日会、近畿富山県人会を通じ、朝日産米のPR・予約販売を行っており、外向けへの展開も実施している。</li> </ul>
3 産業振興	31 農林水産業	315 林業・漁業の持続的発展	農林水産課	【総合戦略】 新規漁業就業者数 [累計]	人	(H27) 3	5	10	10	H27比較：+7人 (+233.3%) (H29.10.01現在) ◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>●漁業者は不足している話しか聞かない中、増加の実態について教えて欲しい。その方々は「組合員である」というだけで、漁に出ないのではないかと。</li> <li>●これは、本来の成果指標の狙いとした数値ではないと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●泊漁業協同組合が居住地要件を廃止するという定款の変更を行ったため、町外の漁業者も組合員になったことが増加の要因である。</li> </ul>
3 産業振興	33 商工業	331 既存企業・事業所の経営体質の強化	商工観光課	【総合戦略】 事業所数（公務を除く）	事業所	774	790	800	640	H26比較：▲134事業所 (▲17.3%) (平成28年度経済センサス速報値) ▲	<ul style="list-style-type: none"> <li>●商店街については、その体を成しているとは言い難く、先細りしている現状に大変危機感を抱いている。要因としては後継者不足や高齢化が挙げられ、この先、どれだけのお店が残るのか大変心配している。そのような中、五叉路クロスファイブができたことは、商業の明るい兆しである。また、その周辺には新規の店舗ができてきている。1つのきっかけで、商業の活気が生まれる。商業者が元気を出して協力し合っていかなければならないと考えている。</li> <li>●販売手法としては、SNSを活用した注文販売がある。つまり、商業者自身も従来の販売形態等に捉われず、新たな手法を取り入れるのが大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現在、商工会と連携して、販売力強化や後継者育成に関する補助金を出している。このほか、「まちゼミ」の開催も商業の活性化等の1つである。また、賑わい創出事業や商店街魅力アップ事業などにより施設整備にも支援している。</li> </ul>

<< 朝日町総合計画・総合戦略検証委員会における委員意見及び回答・対応等 >>

区分	施策分野	主要施策	担当部署	成果指標等						第3回委員会（H29.12.01）における意見等			
				項目	単位	H26 (基準)	H32 (中間)	H37 (最終)	H28実績、H29.10.01現在		委員意見	回答・対応等	
									成果数値	達成状況等			
4	観光・交流	415 観光拠点の整備 (町の特性を打ち出した観光の提供)	商工観光課	【総合戦略】 ヒスイ海岸観光入込客数 [年間]	万人	9.4	20.0	22.5	10.3	H26比較：+0.9万人 (+8.7%)	△	●今年度のヒスイ海岸での夏イベントについては、昭和女子大学の海の家、マリンフェスタ、トレジャーハンティングなどを開催されたが、これらのイベントがリンクしていない。開催イベントによっては前売券が使用できないといった状況であった。次回、このようなイベントを実施するのであれば、連携して一体的に実施すべきである。	●各団体及び地区との絡みもあるが、リンクして実施すべきであると考えている。来年度に向け改良していきたい。 ●仮に、連携できないのであれば、イベントの実施日を代えることも考える。
7	生活基盤	72 道路・交通	企画調整課	【総合戦略】 まちバス利用者数 [年間]	人	26,097	30,000	35,000	33,222	H26比較：+7,125人 (+27.3%) (中間目標達成)	○	●かつては外国人観光客が天香寺に宿泊してから宇奈月に行っていたが、そのような方々がかなり減少している。このような外国人は、魚津市から宇奈月温泉に入っており、残念に思っている。	●あさひまちバスは、愛本線を黒部市役所宇奈月庁舎まで運行しているが、その先の延伸は、公共交通における各エリア分担があり、利害衝突が極力無いような乗入れが原則である。制約はあるものの、当該要望があることは関係機関に伝えていきたい。
7	生活基盤	75 情報共有、町民参加	企画調整課 総務政策課	【総合戦略】 ふるさと応援団人材バンク登録者数 [累計]	件	—	40	60	—	※平成29年度に人材バンク体制を確立し、運用する。	※	●ふるさと教育出前授業では、地域おこし協力隊が「朝日町の外から見た意見」を話してくれている。このほか、朝日町を熟知した方にも話をしてもらいたい。現在、このような方々を登録する「人材バンクづくり」を町と協議している。	—

<< 朝日町総合計画・総合戦略検証委員会における委員意見及び回答・対応等 >>

基本目標	成果指標等						第3回委員会 (H29.12.01) における意見等		
	総合戦略数値目標	単位	H26 (基準)	H32 (目標)	— (—)	H28実績、H29.10.01現在		委員意見	回答・対応等
						成果数値	達成状況等		
4 時代に合った地域づくりを進める	住み慣れた地域で暮らし続けることができると感じる町民の割合	%	—	75.0		72.6	基準値とする。 (アンケート調査)	※	●人口減少を食い止めたいということで、当該委員会で会議していると認識している。 ●「未婚者を結婚させる」、「子どもを生める夫婦であれば、一人でも多く出産できる良い環境をつくる」、「企業誘致・就業の場の確保により、若者の人口流出を食い止める」ことが重要であるが、全ては「朝日町に住む人が満足できる環境を整える」ということに集約されると考える。 ●どの課題も疎かにせず、検証していきたい。
	地域に誇りを感じている若者の割合	%	54.9	70.0		49.4	H26比較：▲5.5 (アンケート調査)	▲	